

(様式4)

◆ (氏名) 櫻井 千穂

<所属・職名> 大阪大学大学院人文学研究科日本学専攻 准教授

<略歴>

国際協力機構(JICA)の青年海外協力隊日本語教師(エクアドル赴任)、一般企業勤務ののち、大阪大学大学院言語文化研究科博士後期課程修了。言語文化学博士。日本学術振興会特別研究員(RPD)、同志社大学日本語・日本文化教育センター准教授、広島大学大学院人間社会科学研究科准教授を経て、現職。

<これまでの研究活動、外国人児童生徒等教育に関する経験など>

二つの文化・言語環境の中で育つ外国人児童生徒等の言語能力の発達、特に読書力の発達や会話力と読書力の関係、二つの言語能力の関係について研究を続けてきました。研究に着手した当初、包括的・多角的に二つの言語能力を測定できるアセスメントがなかったため、アセスメントを作成しながら研究を進めました。その後「外国人児童生徒のためのJSL対話型アセスメントDLA」の開発に携わりました。その成果は『外国にルーツをもつ子どものバイリンガル読書力』2018年、大阪大学出版会、にまとめました。また、過去に兵庫県の子ども多文化共生サポーターをさせていただいていたこともあり、学校教育現場の先生たちと、母語を活用した教育や、教科内容と日本語指導を統合させた教育実践、読書指導の共同研究を続けてきました。現在は、愛知県豊田市の集住地域の小中学校や大阪府の高等学校で、日本語能力レベル(DLAのステージ)に応じたカリキュラム、シラバス作りを一緒にやっています。

<対応可能学校種>

小学校、中学校、 教育委員会(研修・システム構築関連のアドバイス)

<遠隔での指導助言> ※いずれかの□にチェックを記入してください。

対応可 対応不可

<その他(国等の委員歴等)>

大阪府教育庁、兵庫県教育委員会、愛知県豊田市教育委員会、愛知県西尾市教育委員会等の外国人児童生徒教育等の事業に関するアドバイザー

<関連URL>

<講師として担当可能な内容>

別紙「講師として担当可能な内容(モデルプログラム「養成・研修の内容構成」対応)」のA~Nの書く欄に、◎または○を付けてください。

※別紙に○を付けていただいた内容は、一覧表に整理して文部科学省ホームページに掲載いたします。

※ 本様式は文部科学省ホームページに掲載いたします。